



資料提供	
平成23年12月22日	
担当課 (担当者)	県立博物館 学芸課 (山陰海岸学習館担当) 主任学芸員 和田 年史
電話	0857-73-1445

水槽展示コーナー [山陰海岸学習館] 2012年の干支にちなんだ魚「タツノオトシゴの仲間」 の展示について

2012年の干支の「辰（たつ）」が和名に含まれる海の生きものと言えば、「タツノオトシゴ」が思い浮かびます。山陰海岸学習館では、見た目が魚ではなく竜（たつ）の姿に似ていることから「竜の落とし子」と名付けられた、タツノオトシゴの仲間（2種類）を展示していますので、広くご紹介くださいますようお願いします。

1 展示について（注：生物の状態により展示内容を変更する場合があります。）

日程：平成23年12月22日（木）～

*月曜日、祝日の翌日および年末年始（12月29日～1月3日）は休館日です

場所：山陰海岸学習館エントランス「山陰海岸の生きものたち」コーナー（水槽展示）

2 展示生物について

① タツノオトシゴ *Hippocampus coronatus*（トゲウオ目ヨウジウオ科）（写真左）

全長：約7cm／採集日：2011年8月26日／採集場所：鳥取県岩美郡岩美町牧谷

日本各地の浅い岩礁域や藻場にくらす。海藻などに長い尾を巻き付けてゆっくりと動き、周りの環境にとけ込んで擬態する。細長い筒状の口が特徴で、小さなエビなどを吸い込んで食べる。

② タカクラタツ *Hippocampus trimaculatus*（トゲウオ目ヨウジウオ科）（写真右）

全長：約13cm／採集日：2011年11月29日／採集場所：兵庫県美方郡新温泉町釜屋沖

おもに南日本の沿岸浅海域の岩場や藻場、その周辺の砂底などに生息する。タツノオトシゴと同様に擬態し、よく似た餌の食べ方をする。

3 問い合わせ先

鳥取県立博物館付属『山陰海岸学習館』（担当：和田年史）

〒681-0001鳥取県岩美郡岩美町牧谷1794-4 電話：0857-73-1445・FAX：0857-73-1446

〔追加情報〕 黄金色のオニオコゼの剥製展示

昨年の10月に話題となった「黄金色のオニオコゼ」の剥製が完成し、展示しています。「山陰海岸ジオパーク」が世界認定を受けた直後に見つかったことから、「幸運」をもたらすと話題になりました。年の始めには、ぜひ山陰海岸学習館にお越し下さい。皆さんにも「幸運」をもたらすかもしれません。

